到達人孔に直接取り付け改築推進工法UPRIX

キーワード
改築推進，引込方式，切削タイプ，水平ボーリング，二重管式

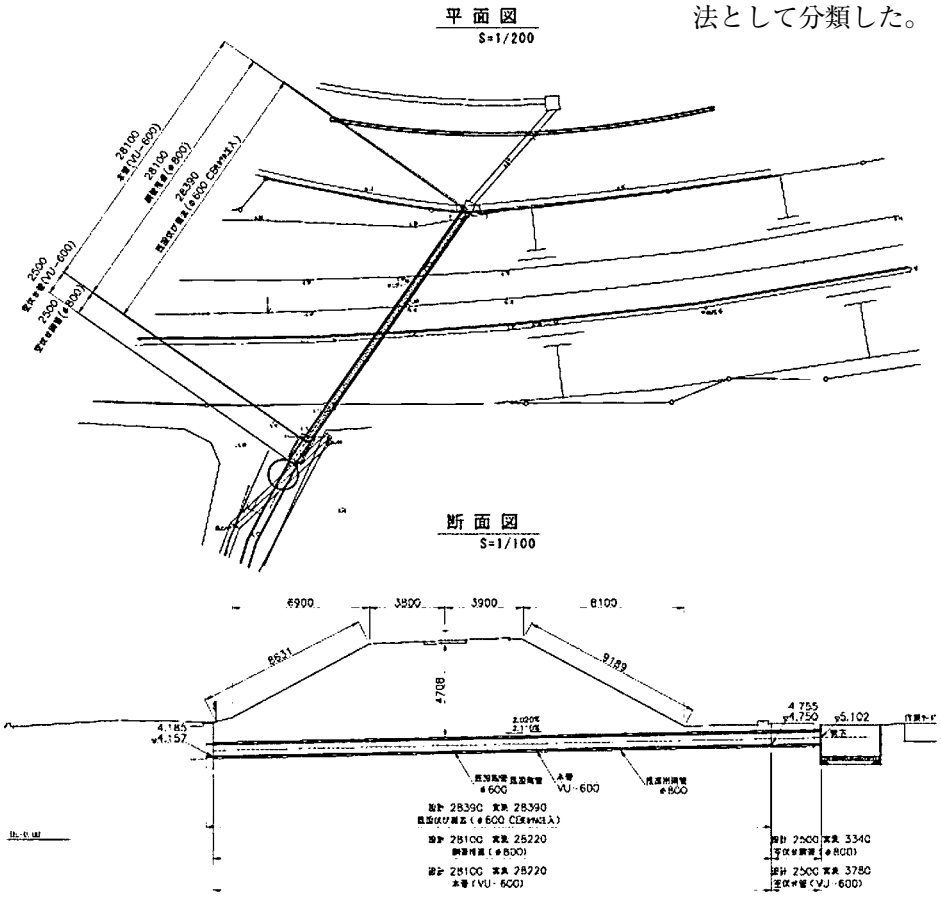
矢野　伊佐夫
YANO　Isao
大林道路㈱
本店環境施設営業部長

1．まえがき

SH・SHミニ工法の内管空洞部を利用して切削せずにそのまま空洞部へ直接引き込みする工法としてPRしていたが本年度より切削タイプを追加した。

これは問い合わせの大半は老朽管の沈下で，引き込み方式では老巧管に対し余りにも推進鋼管が大きくなることで不経済であることからSH・SHミニ工法の土質分類にない各種老巧管切削を新たに追加し，これを改築推進工法のUPRIX切削タイプとして平成24年度よりデビューさせた。

どちらもSH機を使用するので工法的には変わりないが新規築造はSH・SHミニ工法，改築はUPRIX工法として分類した。



図－1　平面断面図

2．採用事例

UPRIX工法の最大な利点は到達人孔への直接取り付けが可能なことである。今回その利点を生かした事例を紹介する。（図－1）

2－1　施工場所の現状について

（写真－1，2）は今回改築推進した到達側で，築堤盛土された傍に歩道と側溝があり，車道はカーブしている。朝夕は通勤車両等が激しく，日中も割とダンプ等の大型車輌が通行する道路である。実はこの側溝と思われる鉄製網目側溝蓋の下にはコンクリート1,200mm角の集水ます